

環境保全活動



社会的要請

- 環境負荷低減
- 地球温暖化防止
- 廃棄物の削減

FDKのアプローチ

- 環境配慮製品の開発推進
- 温室効果ガス排出量の削減
- 再生可能エネルギーの導入
- 廃棄物発生量の削減

環境保全活動のハイライト

第10期環境行動計画 目標7項目うち 6 項目達成	環境配慮設計 4拠点中 3 拠点で達成	温室効果ガス削減 目標達成	エネルギー消費原単位 目標達成
再生可能エネルギーの 導入 目標達成	化学物質排出量削減 目標達成	廃棄物発生量削減 目標達成	地域環境・社会貢献活動 目標達成

環境保全活動の取り組み

地球環境保全への対応

基本的な考え方

FDKグループは、富士通グループの一員として企業の事業活動に伴う環境保全への取り組みについて、各国、地域の法規制や、温室効果ガス削減、廃棄物削減、化学物質の管理の徹底のみならず、提供する製品を通しての環境負荷低減等、地球規模の視点で主体的に持続可能な循環社会実現に向けて行動しなければならないと認識しています。全社的に、より確かな経営環境を推進するため、「FDKグループ環境方針」を制定しております。

FDKグループ環境方針にもとづく行動指針

1. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムにより環境管理を推進し、継続的な改善を図ります。
2. 持続可能な資源の利用、気候変動対策、生態系の保護、および環境汚染の予防を推進します。

3. 事業活動にかかる環境関連法規制および行政との協定など同意した要求事項を遵守します。
4. 次の項目を重点テーマとして、該当する部門にて取り組みます。
 - (1) 環境に配慮した製品開発を推進します。
 - (2) 省エネルギーを推進します。
 - (3) 化学物質を適正に管理します。
 - (4) 廃棄物を削減し、リサイクルを推進します。
 - (5) 地域の環境貢献、社会貢献活動を推進します。
 - (6) 取引先様・お客様のCO₂排出量削減の取り組みを推進します。
5. この環境方針を達成するため環境目的・環境目標を設定し、FDKグループの関係・グループ会社を含む全社員をあげて環境管理を推進します。
6. この環境方針は、FDKグループの敷地内の関係・グループ

会社を含む全社員に周知するとともに全てのステークホルダーに開示します。

ISO14001 認証取得状況

- FDK株式会社
- 本社・湖西工場・鷺津工場・高崎工場・鳥取工場
 - 営業所 首都圏、札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄営業センター
- 国内グループ会社
- 株式会社FDKエンジニアリング
 - FDKパートナーズ株式会社
- 海外グループ会社
- FUCHI ELECTRONICS CO.,LTD.(台湾)
 - XIAMEN FDK CORPORATION(中国・廈門)

カーボンニュートラルへの対応

富士通グループ中長期環境ビジョンで2050年CO₂排出ゼロの目標を掲げています。またRE100(企業が自らの事業活動の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアチブ)の目標として、自らの事業活動の使用電力について、再生可能エネルギー比率を2030年に40%以上、

2050年に100%としています。2023年度の目標では、2030年に100%と目標の前倒しを行なっています。FDKグループは富士通社目標に合わせてカーボンニュートラルへの対応を進めてまいります。2022年度はFDKグループ全体の使用電力の8%を再生可能エネルギーとして導入しました。

グリーン調達について

FDKグループは、地球環境問題の改善を考え、環境負荷を考慮した事業活動と環境配慮製品の提供により社会の持続的発展に貢献するように取り組んでいます。その取り組みにおいて、お取引先様からの納入品につきましても、環境配慮製品であることが必要不可欠であり、その考え方を「FDKグループグリーン調達基準」にまとめました。FDKグループは、「地球環境との共生」を目指して、環境と調和した製品作りのために、従来からの品質(Quality)、価格(Cost)、納期(Delivery)、サービス(Service)に加え、環境(Environment)の側面を評価した調達、すなわち「グリーン調達」を推進しています。
*FDKグループグリーン調達基準 第7.0版
(https://www.fdk.co.jp/kankyou/green_proc.html)

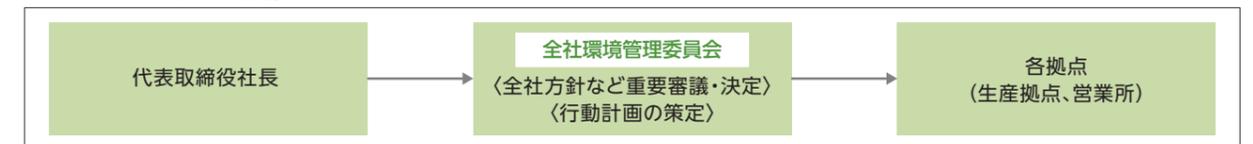
FDKグループ環境方針

FDKグループは、以下の理念のもと、環境経営を推進してまいります。

〈理念〉

FDKグループは、Smart Energy Partnerとして、先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献します。また、FDKグループは、豊かな自然・美しい地球環境を次世代につたえていくため、環境法や環境上の規範を遵守した公正な企業活動を通じ、関係・グループ会社を含む全社員をあげて環境への取り組みを推進してまいります。

FDKグループ環境管理体制



基本的な考え方

FDKグループでは、富士通グループ環境行動計画に準拠した計画を策定し、環境への取り組みを推進しています。これらの方針・目標などを通じて、全事業領域にわたり計画

的、継続的に環境保全活動を展開し、自社の環境負荷低減に努めるとともに、お客様、社会の環境負荷低減にも貢献してまいります。2022年度は次頁のような結果となりました。

FDKグループ第11期環境行動計画 2022年度実績

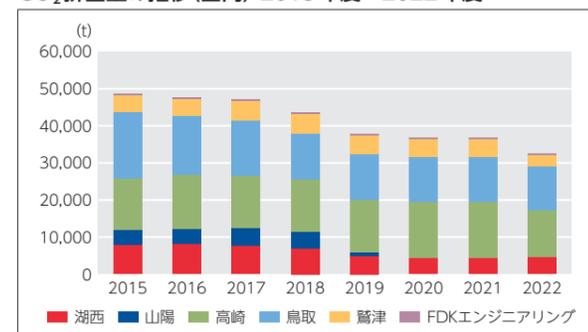
項目	2022年度 行動計画	全体評価 (○ or ×)
環境配慮設計	省資源化に寄与する製品を開発する (各拠点1件以上)	○
	資源効率向上に寄与する製品を開発する (各拠点1件以上)	×
温室効果ガス削減	国内FDKグループ全体でエネルギー消費CO ₂ 排出量を31,311t以下に抑える (係数0.57)	○
エネルギー効率	使用しているエネルギーについて、エネルギー消費原単位を指標として、各拠点で前年度比1%改善する	○
再生可能エネルギー導入	再生可能エネルギーをFDKグループ全体で2030年度に40%導入する (2022年度目標 8%相当)	○
化学物質削減	使用するPRTR対象物質について、排出量原単位を指標として、各拠点で2022年度末までに2015年度比7%改善する	○
廃棄物削減	発生する廃棄物について、発生量原単位を指標として、各拠点2022年度末までに2015年度比7%改善する	○
水資源保全	水使用量削減施策の検討	○
地域環境・社会貢献	地域の環境貢献・社会貢献活動の取り組みを、国内FDKグループ全体で年15件以上実施する	○

社会貢献活動

FDKでは、社会貢献活動の一環として、希少楽器であるクラビオーラの世界唯一の奏者である折重由美子氏による「太陽とツナガル電池の音コンサート」をサポートしています。このコンサートは、太陽光で充電したニッケル水素電池のみを電源に使用しており、循環型エネルギーを目指した地球環境にやさしい充電電池と地球環境保護をテーマに音楽活動をされている折重由美子氏とのコラボレーションによるコンサートです。FDKグループは、これからも自社の事業を活かした社会・環境貢献活動に取り組んでまいります。

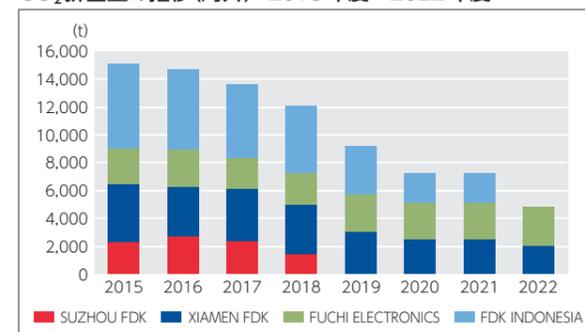


CO₂排出量の推移(国内) 2015年度～2022年度



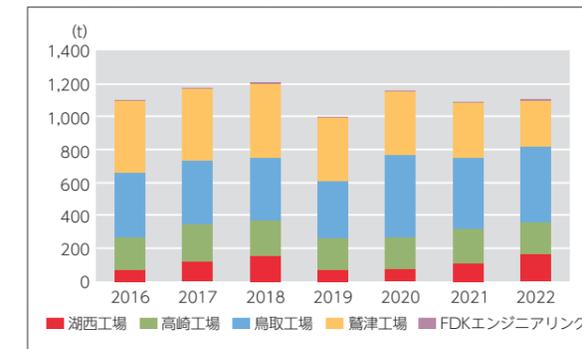
山陽は2019年6月までのデータ

CO₂排出量の推移(海外) 2015年度～2022年度

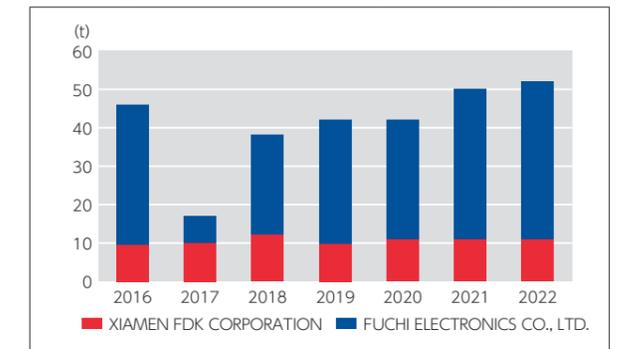


Suzhou FDKは2018年9月までのデータ
FDK Indonesiaは2020年9月までのデータ

廃棄物発生量の推移(国内) 2016年度～2022年度



廃棄物発生量の推移(海外) 2016年度～2022年度



事業所別環境パフォーマンスデータ

項目 (単位)		湖西工場	高崎工場	鳥取工場	鷺津工場	FDK エンジニアリング
CO ₂ 排出量 (t - CO ₂)	2022年度	4,422	12,718	11,919	3,189	151
	前年度	4,455	15,426	12,220	4,794	159
水使用量 (m ³)	2022年度	50,453	21,212	67,876	35,010	425
	前年度	48,370	24,552	57,788	36,143	432
PRTR対象物質排出量 (kg)	2022年度	0	0	0	0	-
	前年度	0	0	0	0	-
SO _x 排出量 (kg)	2022年度	-	-	-	-	-
	前年度	-	-	-	-	-
NO _x 排出量 (kg)	2022年度	61	-	787	-	-
	前年度	341	-	942	-	-
ばいじん (測定濃度) (g/Nm ³)	2022年度	-	-	-	-	-
	前年度	-	-	-	-	-
排水量 (m ³)	2022年度	50,453	20,254	34,016	35,010	425
	前年度	48,370	24,089	31,088	36,143	432
廃棄物 (t)	2022年度	170	189	456	281	7
	前年度	109	206	439	329	6

項目 (単位)		XIAMEN FDK CORPORATION	FUCHI ELECTRONICS CO., LTD.
CO ₂ 排出量 (t - CO ₂)	2022年度	2,052	2,765
	前年度	2,200	2,726
水使用量 (m ³)	2022年度	15,783	17,008
	前年度	14,649	13,228
PRTR対象物質排出量 (kg)	2022年度	-	-
	前年度	-	-
SO _x 排出量 (kg)	2022年度	-	-
	前年度	-	-
NO _x 排出量 (kg)	2022年度	-	-
	前年度	-	-
ばいじん (測定濃度) (g/Nm ³)	2022年度	-	-
	前年度	-	-
排水量 (m ³)	2022年度	12,626	17,008
	前年度	11,719	13,228
廃棄物 (t)	2022年度	11	41
	前年度	11	39

注) CO₂換算係数 0.57 (t-CO₂/Mwh)